

任意団体 北の里浜 花のかけはしネットワーク

東日本大震災被災地の海浜植物の地域交流 によるレスキュー活動

イベントの 延べ参加者数	101 人
北海道での苗の 育成 (500 株)	700 株
活動の全体目標 に対する達成度	90%



5月22日石狩中学校での種まき会

◆成果と工夫したポイント

●成果

1) 苗の育成活動

ハマヒルガオ、ハマニガナ、ウンラン、
コウボウシバ、コウボウムギ、ハマボ
ウフウほかの苗、約 700 株を育成。

2) 植栽・交流活動

3ヶ所での植栽・交流会を実施（参
加者：計 101 名）。

●工夫

北海道の新聞やラジオでも取り上げ
ていただき、多くの市民に活動の意義
を知っていただいた。

課 題

砂浜や湿地、海岸林が、大規模かつ急激な盛土によって大部分が埋め立てられる
など「減災・防災と自然環境の調和」が図られていない状況にあり、改善が必要。

目 標

現地に復元してきた海浜植物の種子を集めて北海道で育苗し、再び現地の適地等
への移植を双方の市民によって行う。活動参加者および一般市民に対し海浜植物群
落の現状や重要性を普及啓発するために勉強会を開催する。

活動内容

- 1) 苗の育成活動：北海道石狩中学校、5月22日タネ播き～7月
22日植え替え、黒松内ぶなの森自然学校、8月9日植え替え。
- 2) 植栽・交流活動など：6月13日 仙台市荒浜・岡田新浜（南
蒲生 / 砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク・緑を守り
育てる宮城県連絡会議と共催）。7月25～26日 名取市閑
上浜（名取ハマボウフウの会と共催）。12月5～6日 釜石
市鶴住居（三陸ひとつなぎ自然学校、黒松内ぶなの森自然学校
と共催）。



6月13日植栽交流活動の
様子（仙台市荒浜）

達成できなかったこと

被災地の防災工事は各発注者ごとに複雑な事情を抱えており、例えば完成後に自
治体管理に移行するため許可が後日取り消されたこともあった。

今後の展望

実施していない地域との交流を図れたことにより、活動地域の拡大や事例を積み
重ねていく。